

2022年11月8日改定

本大会は、新型コロナウイルスを巡る昨今の情勢の変化に応じ、また最新の「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（公益財団法人日本スポーツ協会）および「陸上競技活動再開のガイダンス」（日本陸上競技連盟）に則り、感染拡大防止対策マニュアルを下記の通り作成いたしました。今後の情勢の変化に応じ、本マニュアルを随時変更する場合がございます。参加者の皆さまにおかれましてはご理解とご協力をよろしくお願い致します。

(1) 大会参加者および大会スタッフの参加条件

- 大会前の健康観察チェックシートを記入・持参できる方。
- エントリー開始時に日本国内に在住の方。

(2) 大会参加者および大会スタッフが厳守すべき事項

- 大会前 7 日間の健康観察期間において以下の項目に該当する場合は、参加を見合わせてください。
 1. 37.5℃以上の発熱や喉痛・だるさ・味覚異常などの体調不良がある方
 2. 家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる方
 3. 日本国外へ渡航された方
- 大会当日に感染疑い者が出た場合は、下記の通りに対応します。
 1. 感染疑い者
37.5℃以上の発熱や喉痛・だるさ・味覚異常などの体調不良がある選手が出た場合、原則当該選手は参加を辞退するまたは、主催者による出場権利取り消しを行う。

(3) 大会参加者および大会スタッフの基本行動(お願い)

- マスク等口を覆うものを必携品とし、走行時以外は常に着用すること。
- こまめな手洗い、アルコールによる手指消毒を徹底すること。
- 他の参加者やスタッフ等との距離を 1m 以上確保すること。
- 大きな声で会話、応援等をしないこと。
- 感染防止のために主催者が決めたその他のルールを守り、その指示に従うこと。
- 大会終了後 14 日間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した場合や発熱や咳などの感染を疑う症状がでた場合は、大会事務局に必ず報告すること。
また、濃厚接触者の有無等についても併せて報告すること。

(4) 受付

- 受付のスタッフはマスクを着用する。
- 参加者が1 m 以上間隔を置いて並べるよう地面に目印を設置する。

(5) スタート時

- 開会式は簡易的に行う。(参加者の集合を求めない)

※競技説明など必要事項は事前に大会ホームページにて資料を公開および会場でのアナウンスに代える。

(6) 走行中

- 周囲の選手とは、1 m 以上間隔を空けて走行する。
- 追い抜く時およびすれ違う時は1 m 以上間隔を空ける。
- 追い抜く人は予め前を走行する選手に声をかけ、両者が協力して間隔を保つ。
- 唾や痰を吐く行為は極力行わない。

(7) エイドステーション

- 消毒液を設置し、手指を消毒した選手のみ利用することができる。
- スタッフはマスクを着用して活動を行う。
- 残った飲料をその場に捨てたり、口から吐いたりしない。

(8) フィニッシュ時

- 大きな声での声援やハイタッチなどの接触は行わない。
- フィニッシュ後、休憩する選手はマスク等で口を覆う。

(9) 救護

- 救護担当者が処置をする際は、その前後に必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。
(処置を受けた選手はその時点で失格)

(10) ゴミ

- スタート/フィニッシュ会場に選手用のゴミ箱は設置しない。競技中に出たゴミは、エイドステーション/ウォーターステーションに設置するゴミ箱以外に廃棄することを禁止する。

(11) 免責事項

- 大会主催者は本大会に関わる全ての人の新型コロナウイルス感染に対する一切の責任

を負いません。